

「鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会」令和7年度第1回会議 会議録

1 開催日時

令和7年4月23日（水） 午後1時30分～午後2時50分

2 会場

鎌ヶ谷市役所 本庁舎 6階 第1委員会室

3 出席者

(1) 環境美化対策推進協議会会議委員（10名）

高野武会長、小島正實副会長、太田尻工副会長、片平房子委員、  
上野磯次郎委員、川田由美子委員、皆川洋子委員、  
今村喜和子委員、小池義明委員、飯塚博文委員

(2) 事務局（4名）

高野クリーン推進課長、神道係長、萩原係長、前田主任主事

4 傍聴者

なし

5 会議

会議に先立ち、教育団体の小中学校校長会より飯塚博文委員の推薦があったことに伴い、委嘱状の交付を行った。

飯塚委員の任期は、令和7年4月23日から令和8年4月13日までとなる。

(1) 会議録署名人の選出

名簿掲載順にて、川田由美子委員、小池義明委員を選出した。

(2) 議題

ア 令和6年度事業報告及び令和6年度収支決算について

（事務局が資料を基に説明）

会 長：何かご意見等はあるか。

委 員：(特になし)

会 長：路上パトロールは、どのように決めて実施しているのか。

事務局：会議の報告の際にも説明を予定しているが、パトロールは月2回程度行い、時間帯は日中万遍なく設定している。

様々な時間帯により実施することで、喫煙者数の傾向を把握することができ、人通りが多い時間帯において実施することで啓発の効果が高められると考えている。

会 長：リサイクルフェアの売上が当初予算額の半額程度になっているのはなぜか。

事務局：例年リサイクルフェアは、産業フェスティバルにおいて2日間出展しているが、他の市イベントの日程等の兼ね合いにより、1日のみの出展となったことから、半額程度の売上となっている。

会 長：ほかに何か質問等はあるか。

委 員：(特になし)

→事業報告及び収支決算について、共に異議なく承認された。

イ 令和7年度事業計画（案）及び令和7年度収支予算（案）について  
（事務局が資料を基に説明）

会 長：何かご意見等はあるか。

委 員：予算について、恒例イベントの経費及び路面シート2～3枚の貼り替え等で使い切っている状況であるため、補助金としての54万円を増額することはできないのか。

事務局：補助金は市の一般財源より計上しており、財政当局との協議が必要となるが、市全体として予算削減を進めている傾向であることから、予算額を維持することも厳しい状況である。環境美化活動の予算について、委員からの要望も踏まえた上で、財政当局と調整していきたい。

委 員：環境美化活動により、市を美しいまちにしようとするのであれば、予算を増額して、主に新鎌ヶ谷駅周辺におけるポイ捨て禁止や路上喫煙禁止等の周知啓発を推進していくべきだと考える。

会 長：例年通りの事業に加えて、新たな取組も実施できるように検討できたら良いと思われる。

事務局：あと数年で新鎌ヶ谷駅周辺が変化していく予定である。

駅南側において、商業施設やマンションが建設予定であり、交番裏には、生協の事業所が誘致されることから、まちの活

性化が想定される。

そのため、駅周辺に人が集中することから、さらなる環境美化対策の強化も必要不可欠になってくると考えられる。

このことから、予算増額についても検討していかなければならないと思われる。

委員：今年度予算において、リサイクルフェア売上金を計上しているが、リサイクル傘の提供についての進捗状況は、どのようになっているのか。

事務局：新京成電鉄は鎌ヶ谷市にあり、距離が近いという関係性があったが、今年4月から京成電鉄と合併し、事業所は市川市の本八幡へ統合されたことから、これまで通りのやり取りが難しい状況となっている。

委員：収入として売上金を計上しているため、何か販売するものがあるのだろうか。

会長：今後の事業展開について、後ほど説明を予定しているようなので、この議題と併せて協議することはいかがだろうか。

事務局：この後において、今後における傘の提供等についての報告を控えているため、この説明と併せて協議していただきたい。

### (3) 報告

#### ア 今後における傘の提供等について

(事務局が資料を基に説明)

会長：何かご意見等はあるか。

委員：令和7年度において、傘の提供を受けられないということであれば、今後どのような事業を実施していくのか。

事務局：今後の事業展望については模索中であるが、収益をあげられることを前提に予算額として9万円の収入を計上している。なお、収益があげられる事業が提案できるようであれば、今後の会議において説明の上、協議していきたいと考えている。

委員：新京成電鉄の傘の提供について、京成電鉄への引き継ぎが不可能であるということは、どのような内容だったのか。

事務局：会社の合併直前の時期ということもあり、会社の組織上の関係性や今後の担当者に関しても不明確な状況であることから、現時点においては、この案件の京成電鉄への引き継ぎを行うことはできないということであった。

今後において、新鎌ヶ谷駅南側に建設されるビルやマンションには、京成電鉄が入る予定であり、距離感という観点では、京成電鉄が市のまちづくりに参画することで、連携する機会ができれば、環境美化の発展にも繋げられるのではないかと考えている。

副会長：環境美化活動として、主にゴミゼロ運動、リサイクルフェア、路面シート等の啓発を実施しているが、予算が限られている中で、より一層の環境美化についての周知啓発をはじめ、市として積極的に取り組んでいくべきなのではないか。

事務局：今後の事業内容については、これまでの活動が終了する訳ではないため、時期を見計らいながら、事業を展開していきたいと考えている。

会 長：今後の京成電鉄への確認や交渉については、時期を考慮して進めていただきたい。

事務局：環境美化活動はこれからも続いていくものであるが、今年度においては、あらたな事業展開も考えているため、後ほど提案していきたい。

今年度については、これまでの活動と比較するための模索をしていく年度になると考えている。

会 長：ほかに何か質問等はあるか。

委 員：(特になし)

→事業報告(案)及び収支決算(案)について、共に異議なく承認された。

#### イ 令和6年度「路上喫煙防止パトロール」の実施結果について

(事務局が資料を基に説明)

会 長：何かご意見等はあるか。

副会長：喫煙者への対応の際にトラブル等は無かったか。

事務局：声掛けに応じて喫煙を止める又はその場を立ち去る人がほとんどであり、昨年度においては、揉めることは無かった。

昨年度においては、幸いトラブル等が無かったが、今後においても用心しながら実施していきたい。

会 長：実施する時間帯によっても大きな差が表れている。

月2回のパトロールで効果は出ているのか。

事務局：効果を求めるのであれば、実施回数を大幅に増やしていく必

要があるが、市職員では対応しきれない事情があり、警察OB等の指導員を雇用するとしても、多額の人件費が掛かってくることとなる。

また、過料を設定したとしても、必ずしも効果が期待できるとは限らないため、今後においても近隣市の状況を踏まえつつ、今年度も同様に実施していきたいと考えている。

#### (4) その他

##### ア 令和7年度における新たな事業提案について

(事務局が資料を基に説明)

会 長：何かご意見等はあるか。

事務局：出展を検討しているニコカマフェスは、平成26年から実施されており、ある程度定着した事業となっている。

昨年度における来場者数は、約3,800名となっており、会場は、初富駅近くのきらり鎌ヶ谷市民会館及びきらりホールを中心として開催している。

非常に評判が良く、平成28年には、千葉県のコラボ大賞を受賞し、県知事から表彰されている実績がある。

子育て世代の親子の集いの機会として、地域の活性化や交流のきっかけ作りの場となっている。

そこで、令和7年度においては、市が協賛している事業であり、主に子育て世代の親子を対象としているこの事業に出展したいと考えている。

なお、産業フェスティバルは出展料が掛かるが、この事業への出展は無料である。

副会長：自連協では40周年を記念して、子どもたちを集めて遊びのイベントを実施したが、ニコカマフェスとは、どのような内容の事業なのか。

事務局：子育て世代の親子を対象とした体験型のイベントが中心となっているが、詳細については、次回の会議において説明することとしたい。

今年度においては、産業フェスティバルの会場等のことも踏まえ、この機会をチャンスと捉えて、対象を子育て世代に変えることで、事業に取り組んでいきたい。

その後において、これまでの事業と比較検証の上、あらたな

展開を模索し、今後の活動に繋げていきたいと考えている。

会 長：この事業は屋内で行われるものなのか。

事務局：屋内で実施される予定である。

今年の開催日は8月21日で決まっており、子どもたちも夏休み期間であることから、ある程度の集客も期待できる。

あらためて次回の会議にて事業内容を説明することとしたい。

会 長：初めての試みであるが、人手が多いこともあり、やってみないと分からない側面もあるため、実施するには、良い機会であると思われる。

この事業へ出展することで進めてよろしいか。

委 員：異議なし

イ 令和7年度ごみゼロ運動の事務スケジュール等について

事務局：4月23日において、回収ボランティアの協力団体宛に依頼文書を送付した。

4月25日に1回目の自治会回覧として、全戸配布チラシ、ごみ袋、ポスターを各自治会へ配布予定である。

5月1日には、広報かまがや及びごみ分別アプリにより開催のお知らせを掲載予定である。

5月9日に2回目の自治会回覧として、カラーコーン、旗、ポール等の物資を各自治会へ配達予定であり、5月25日がごみゼロ運動当日となる。

会 長：ごみゼロ運動は、市としての大きな事業の1つでもあるため、協力をお願いしたい。

何かご意見等はあるか。

委 員：(特になし)

そのほかに特に質疑等なく閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するために次に署名する。

令和7年5月9日

氏名 川田 由美子

氏名 小池 義明